

社員・地域・顧客に「おもてなし」をすることで、
健全な経営を実践している中小企業・小規模企業を表彰する

第7回

三重の

おもてなし 経営企業選

～令和2年度受賞企業のご紹介～



株式会社宝輪



株式会社三菱バウ・マテリアル



株式会社四日市事務機センター

三重県

● 三重のおもてなし経営企業選への期待

「三重のおもてなし経営企業選」は、平成26年4月に施行された「三重県中小企業・小規模企業振興条例」に基づき創設された表彰制度で、今年度で7回目の表彰となります。

令和元年度までに25社の企業を「三重のおもてなし経営企業」として表彰しており、令和2年度には新たに3社の企業を表彰しました。

本県の中小企業・小規模企業は、県内企業数の99.8%、従業者総数の88.3%を占めており、地域の雇用や経済、社会を支えている重要な存在です。本企業選は、このような中小企業・小規模企業の中で、「社員・地域・顧客」へ「おもてなし」の観点から経営を実践している企業に光をあて、その魅力を情報発信するとともに、「おもてなし経営」という経営モデルを広めていくことを目的としています。

今回ご紹介する令和2年度表彰企業は、3社とも先代から事業承継した若手経営者が経営する企業であり、「おもてなし経営」に取り組むことで、社員、地域、顧客とともに発展し続けている素晴らしい企業です。新型コロナウイルス感染症の影響に伴う社会情勢の変化やデジタル化の急速な進展、持続可能な開発目標(SDGs)への貢献が求められるなど、中小企業・小規模企業を取り巻く環境が大きく変化しているなか、各企業の取組を通じて「おもてなし経営」についてのご理解を深めていただくとともに、新たに「おもてなし経営」に取り組む企業が増えることにより、企業が地域において継続的に発展し、新たな雇用の創出や顧客の獲得、ひいては地域経済の活性化につながっていくことを期待しています。

令和3年3月
三重県知事 鈴木 英 敬



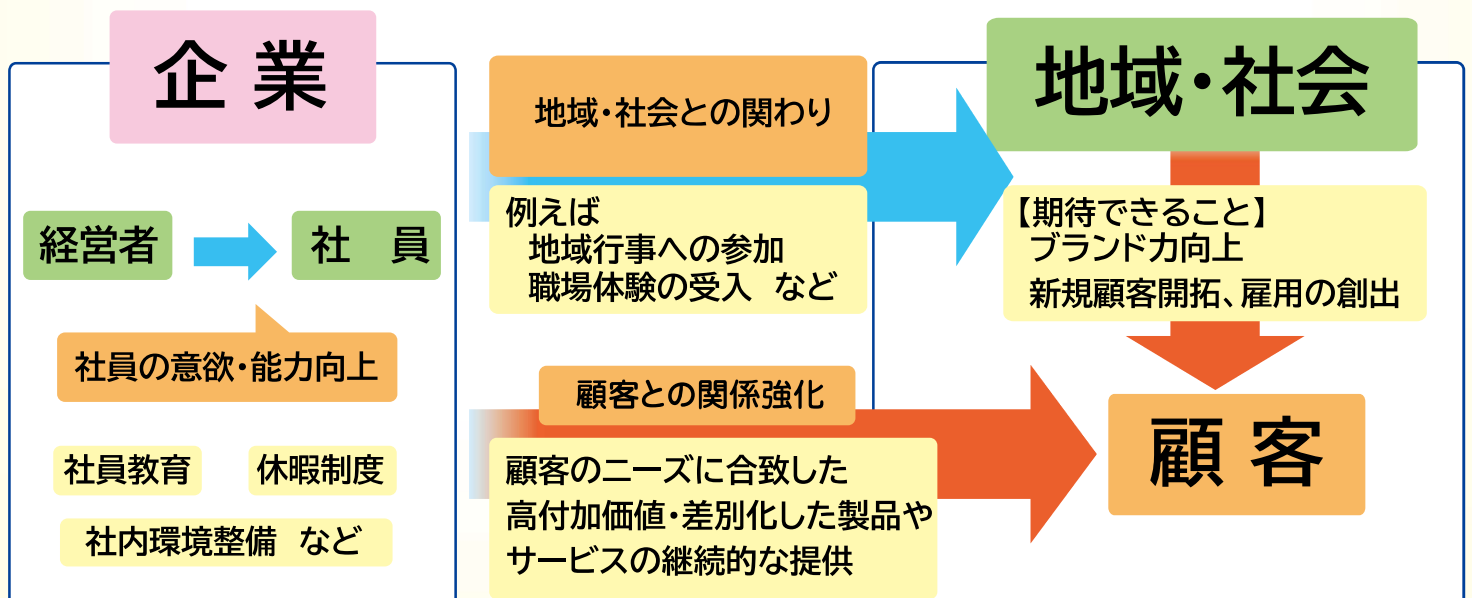
● 「三重のおもてなし経営」とは

- (1)社員の意欲と能力を最大限に引き出し
- (2)地域・社会との関わりを大切にしながら
- (3)顧客にとって高付加価値で差別化された製品やサービスを提供している

経営のことです。

社員、地域、顧客の三者への「おもてなし」を実践することで、過度の価格競争に陥ることなく、地域において事業の継続的発展が期待できる経営のモデルと位置付けています。サービス業をはじめ、製造業やあらゆる業種にとって、重要なキーワードと考えています。

「三重のおもてなし経営企業選」のコンセプト



令和2年度受賞企業



株式会社宝輪 (運送業)

鈴鹿市国府町5696-1

TEL : 059-378-2818 FAX : 059-378-0861

H P : <https://www.kkhowa.co.jp/>

株式会社ミツイバウ・マテリアル (建築資材卸売業)

松阪市高須町3460番地125

TEL : 0598-51-3308 FAX : 0598-51-3307

H P : <https://mitsuibau.com/>

株式会社四日市事務機センター (事務機器販売業)

四日市市日永西2丁目18番地7号

TEL : 059-346-5411 FAX : 059-346-1177

H P : <https://www.yj-c.co.jp/>

株式会社宝輪（鈴鹿市）

経営理念：企業と社員がともに成長できる企業文化の構築により、たゆまぬ事業の発展を通して、豊かで快適な地域・国家社会の発展に貢献します。

運送業を中心とし、50年以上地域社会の発展に貢献している。このほか、不動産賃貸業やトータル物流サービスに向けて倉庫内での荷役管理などを行う構内物流業、ガソリンスタンド事業など幅広く事業展開している。

- 創業 1968年
- 従業員数 118人
- 資本金 2000万円
- 代表取締役 蕪竹 理江

優れた取組のご紹介

～社員の意欲と能力を最大限に引き出す仕組み・取組み～

健康経営の実践や同社独自の介護サポート制度である「ケアサポ制度」により社員とご家族の健康を守るとともに、働きやすい環境づくりに取り組んでいる。

また、トラック乗務員の過重労働を防ぐためのホワイト物流推進運動を推進することで、性別や年齢に捉われない労働環境の形成により、人材の定着や多様化にもつながっている。

人材育成にも力を入れていて、部署を越えた女性社員が意見交換を行う女性活躍委員会の設置や社員研修、資格取得支援制度により、社員のスキルアップや意欲向上を図っている。

本社会議室の壁一面には、安全にあたって確認すべきことや実際に発生した事故等の情報や改善にあたっての議論の内容などが貼られていて、社員が必要な情報をいつでも確認できるような環境が整備されている。



女性活躍委員会



本社掲示板での情報共有

～地域・社会との関わりを大切にする事業や活動～

環境に配慮し、地元の企業や人を応援することで新しい芽を育てながら、地域・社会へ貢献することが会社の喜びであるという考えのもと、CSRを推進している。燃料使用量削減による排気ガスの抑制や省エネ、町内清掃活動など環境保全に係る活動に積極的であり、鈴鹿本社では、環境マネジメントシステムに関する国際規格の「ISO14001」を18年連続取得している。省エネ、創エネでビルのエネルギー収支をゼロにするビル「ZEB(ゼブ)(ゼロ エネルギー ビルの略)」化事業にも取り組み、2018年所有物件2棟をZEB化した。これにより県内で唯一、ZEBリーディング・オーナー(先進的建築物オーナー)認定を受けている。

また、津市、鈴鹿市と協定を結び、自社ビル2棟を津波避難ビルとしたほか、経営するガソリンスタンドを災害発生時も給油可能な地域住民拠点SSとするなど、地域の災害時の避難者対策にも協力している。

～顧客への高付加価値で差別化された製品・サービスの提供～

インフラを担う事業者としての使命感を持ち、顧客のニーズに応え、寄り添うことを大切にしている。「ISO14001」を18年連続取得していて、緊急時PDCAがすべての業務に標準化されるよう、社員教育が行き届いているため、各社員が様々なトラブルなどに対して迅速に対応することが可能となっている。

自社ビルに「ZEB」を導入したことにより物件価値が向上し、入居するテナントにも快適性やコスト削減等のメリットがあることから、不動産賃貸業の収益向上にも結びついている。

また、配送車両のデジタル管理、書類の電子化など、IT化、DX化に取り組み、荷主サービスや業務効率の向上につながっている。



BELS五つ星認定(ZEB)



鈴鹿給油所(災害時住民拠点SS)

受賞企業コメント ～「おもてなし経営」実践の目的～

我が社は社員・地域・顧客を一つの輪として捉えていて、その輪を広げ還元していくことこそが事業の継続的発展につながると考えており、謙虚で前向きな輝く企業を目指しています。「おもてなし経営」を実践することで、我が社の成長へとつなげ、働く社員またその周りの方が笑顔になれるような企業であり続けたいと考えています。



代表取締役 蕪竹 理江

株式会社ミツイバウ・マテリアル（松阪市）

経営理念：期待に応える人を創り、企業を創る



三重県下最大規模の鉄鋼二次製品の工場を持ち、建築資材、住宅設備機器、エクステリア製品、環境商品などの製造・加工・販売・施工を行うことにより、街づくりや県民の住まいづくりに幅広く貢献している。

- 創業 1951年
- 従業員数 53人
- 資本金 6000万円
- 代表取締役社長 三井 陽介

優れた取組のご紹介

～社員の意欲と能力を最大限に引き出す仕組み・取組み～

「社員満足を高めていかないと顧客満足も高まらない」という考えのもと、福利厚生の充実や職場環境の整備、社員の健康を考え長く働ける職場づくりを行っている。福利厚生としては、社食補助や会員制リゾートホテル、企業が掛金や保険料を負担して企業型確定拠出年金や3大疾病保険に加入している。

事務所や工場は整理整頓されているほか、パレットストーブやエコウィンなど、無風で人と環境に優しい冷暖房装置を設置していて、生産性や社員の働きやすさに配慮した職場環境となっている。また、社員の仕事と家庭の両立に向け、介護や体調不良などの場合にも利用できる時間単位の有給休暇制度を導入している。

人材育成の取組も充実しており、毎月入社1年目から5年目までの社員を対象に、入社年次別にわかれて「新人勉強会」を開催しているほか、様々な知識習得に向けて、定期的に「全社員勉強会」を開催している。



整理整頓された事務所



人と環境に配慮した冷暖房装置

～地域・社会との関わりを大切にする事業や活動～

地域に密着した経営が強みであり、地域に貢献したい人材を採用しているほか、地域の施工業者とも良好な関係を築いている。また、地元である松阪市のお祭り「鈴の音市」や「みえこどもの城キッズお仕事広場」などのイベントへの継続的な参画、地元スポーツチーム、高校の部活動のスポンサーになっているなど地域への貢献活動に取り組んでいる。

環境保全活動にも積極的であり、環境方針を作成し、省エネ・省資源の推進、ペレットストーブ、太陽光発電システム等の設備販売や設置、エコリフォーム工事の施工を通じて、地域における環境負荷低減に貢献している。

～顧客への高付加価値で差別化された製品・サービスの提供～

顧客の多様な要望に応えるため、専用の加工センターを持ち、一貫した製造ラインにより加工・成型ができ、熟練した技術とノウハウを活かして、多様で複雑なオーダーにも対応が可能となることで、顧客に満足していただける「スピード」「適正価格」「高品質」を実現している。

製造から配送まで自社で行うとともに、書類の電子化やクラウドシステムを取り入れた情報の共有化、RPAを取り入れた定型業務のオートメーション化により、業務の効率化が図られ、ほぼ全ての受注に対して短納期で対応できる。

建設業者等が安心して自社製品を購入できるように、第三者機関による性能評価試験を受けるなど、品質保証を行ったうえ、建設業者等に自社製品を提供する仕組みを整えている。



就労体験イベントへの協力



専用の加工センター

受賞企業コメント ～「おもてなし経営」実践の目的～

事業の付加価値を高め、より一層成長させるため「おもてなし経営」を実践しています。我が社の最大の強みは地域密着での経営であり、「おもてなし経営」を実践することにより社員の幸福度、満足度を上げ、さらに顧客へのサービスも上げることで企業に利益が還元されて、それを地域社会に還元できればと考えています。



代表取締役社長 三井 陽介

株式会社四日市事務機センター(四日市市)

経営理念:未来を笑顔に

～我々に関わる人たちの「未来」を笑顔にする～



OA機器の販売・保守メンテナンスや社内インフラの構築・管理、クラウドシステムの提案・構築などを行っている。

革新的な商品やシステムを提供することで地域の企業の成長に繋げることを企業活動の目的としている。

- 創業 1974年
- 従業員数 32人
- 資本金 1000万円
- 代表取締役 佐野 智成

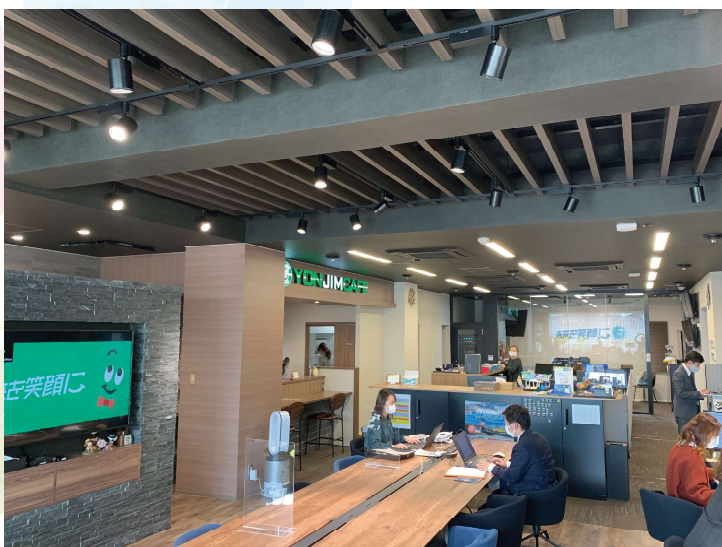
優れた取組のご紹介

～社員の意欲と能力を最大限に引き出す仕組み・取組み～

オフィスは、自宅やカフェ風になっていて、社員が働きやすくリラックスでき、仕事への意欲が向上し、創造性が発揮しやすい環境が整備されている。

また、SNSの活用による社長、社員同士による情報共有、お互いの感謝の気持ちを伝えあう「ありがとうメッセージ」や社員の家族などに関する掲示板など、社内コミュニケーションを促進する工夫が随所に見受けられる。

自社専用の福利厚生アプリを導入し、独自の福利厚生制度が98にもものぼっている。福利厚生制度は、「健康」「家族」「チームワーク」に分類されており、禁煙手当や失恋休暇、社員の子供へのランドセル支給、家族の誕生日をノー残業デーとする制度など、ユニークで社内コミュニケーションが活発になるような制度があり、活用されている。



快適で遊び心満載のオフィス空間



12種類のフリーアドレス空間を設置

～地域・社会との関わりを大切にする事業や活動～

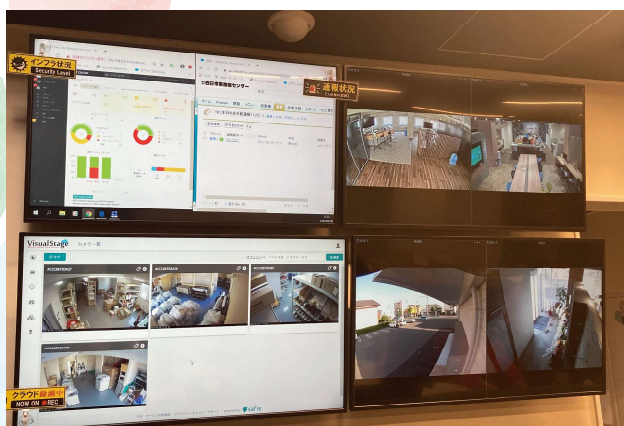
地元スポーツチームのスポンサーになっているほか、四日市まつりや四日市花火大会など地元で開催される祭りへの協賛、学童や保育園などへの寄付活動など地域への貢献活動に取り組んでいる。

四日市事務機センターのビジネスモデルから地域社会へ貢献することを重視していて、ICTやIoTを推進し、地域企業の発展に貢献している。また、自社に取り入れた全国の革新的な企業のノウハウや取組を体験型のオフィス見学ツアーやセミナー開催を通じて、地域の企業に提供することで、企業の社員の士気や生産性の向上に向けた支援を行っている。

～顧客への高付加価値で差別化された製品・サービスの提供～

クラウドシステムとタブレットPCを活用した顧客管理システムを導入していて、全社員がリアルタイムに、情報収集・把握・活用できる体制を構築している。顧客の事務機器故障等の際には、現場に一番近い社員が対応し、迅速な対応が可能となっているとともに、社員が担当事業所以外に駆けつける場合には、それを数値データとして客観的に評価しているなど、顧客満足と社員の共創意識の向上が両立する仕組みが整備されている。また、社内Wi-Fi環境が整備され書類が電子化されているとともに、社内及び個人PCのデータをクラウドシステムに保存することで外出先からも常時社内と同様の作業ができることにより、顧客サービスの迅速な提供が実現している。

新たな商品やシステムが発売されると、まず自社で利用してみしてから、本当に良いと判断したものだけを顧客企業に提供するほか、自社に取り入れた革新的な取組やノウハウも惜しみなく提供するなど、顧客企業の成長に貢献しようとする姿勢が見受けられる。



クラウドシステムを管理する
大型モニター20台を設置



他拠点と常時話せる
Webワープロオフィス

受賞企業コメント ～「おもてなし経営」実践の目的～

事務機業界は20年前から衰退がはじまり、多くの同業者が倒産・廃業していきました。このような状況のなか、事務機業界が継続的に発展していくには、地元中小企業が成長していく必要があります。その為にも、「おもてなし経営」を実践して、他を圧倒できるアフターサポート企業へ成長し、永続的に高付加価値なサービスの提供ができる企業になる必要があると考えています。



代表取締役 佐野 智成

「三重のおもてなし経営企業選」に応募してみませんか？

～令和3年度表彰に向けた募集のご案内～

- 県内に主な事業所がある中小企業・小規模企業が対象です。
- 業種は問いません。(製造業、サービス業、建設業、農業等)
- 自薦・他薦は問いません。多数のご応募お待ちしております。

審査・表彰企業決定までの流れ

- 一次審査(書類審査) ご提出いただいた書類をもとに審査します。
- 二次審査(ヒアリング) 原則として経営者から、取組等についてヒアリングを行います。
- 三次審査(現地訪問) 現地訪問し、現場の様子を拝見します。
- 選考会議、報道発表、表彰式 表彰企業を決定の後、ホームページ等で発表し、知事表彰を行います。

※新型コロナウイルス感染症の影響等により審査手続き等に変更が生じる可能性があります。

令和元年度

- 株式会社東産業(四日市市)
- 株式会社スズカ未来(鈴鹿市)
- 伊藤印刷株式会社(津市)
- 株式会社ファーストステップ(四日市市)

平成30年度

- 有限会社ウェルフェア三重(伊勢市)
- 辻製油株式会社(松阪市)
- 株式会社光機械製作所(津市)
- サンユー技研工業株式会社(津市)
- ノザキ製菓株式会社(桑名市)

平成29年度

- 株式会社ダイレクトカーズ(津市)
- トリックス株式会社(津市)

平成28年度

- おぼろタオル株式会社(津市)
- 株式会社鹿の湯ホテル(菰野町)
- 株式会社コムデック(伊勢市)

平成27年度

- 株式会社尾鍋組(松阪市)
- 有限会社ギルドデザイン(亀山市)
- 株式会社クラユニコーポレーション(津市)
- 株式会社みなみ製麺(伊勢市)

平成26年度

- 株式会社イセオリ(松阪市)
- エイベックス株式会社(桑名市)
- 株式会社佐野テック(菰野町)
- 志摩環境事業協業組合(志摩市)
- 株式会社みつわポンプ製作所(東員町)
- 株式会社山口工務店(伊勢市)
- 株式会社山下組(志摩市)

これまでの受賞企業

詳しくは、 で検索!

お問合せ先: 〒514-8570 三重県津市広明町13 三重県雇用経済部ものづくり産業振興課
TEL: 059-224-2393 FAX: 059-224-2480 E-mail: monoizu@pref.mie.lg.jp

発行: 三重県